

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保世
諏訪 邦夫
堀江 孝至
村山 正博

〈編集委員〉

和泉 徹
小川 聡
永井 良三
平山 篤志
三嶋 理晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
赤柴 恒人
北風 政史
近藤 哲理
中沢 潔
(五十音順)

呼吸器科は循環器科・消化器科と並んで患者数が多く、3 大内科疾患の 1 つといわれている。人口の高齢化によって COPD、肺炎、肺癌などの患者数が急激に増大しつつある。しかし、呼吸器科医師数の不足が叫ばれて久しい。実際、呼吸器科専門医数は循環器内科、消化器内科に比較して 3 分の 1 程度である。この理由としては、呼吸器科を長とする大学講座が少なかったこと、患者数の増加が急速であったことなどが挙げられる。そして、呼吸器科医師不足は個々の医師の過剰労働を生み、さらに呼吸器診療の保険点数が必ずしも高くないことなどによって医師不足の悪循環を形成していた可能性がある。

しかし、日本呼吸器学会はこれに対して様々な対策を実行もしくは検討している。過疎地域でも専門医取得が可能な制度、呼吸器外科医も呼吸器専門医を取得できる制度などが実行に移されようとしている。また、近年呼吸器科を教授とする大学の数も増えつつある。さらに、呼吸器疾患関連の保険点数の増加に関しては、呼吸器疾患患者団体からの要望を積極的にくみ上げて、エビデンスに基づいた点数増加請求策が検討されている。呼吸器内科診療の多様性は様々な診療スタイルを可能にし、「女性医師に適した職種である」とのキャンペーンも始まっている。

「分子生物学、臓器生物学、個体生物学が統合して相補的に生命の神秘を解明する」という、「Integral Biology」が 21 世紀のパラダイムであり、呼吸器病学こそ、それに合致したものである。実際、近年呼吸器関連の英文雑誌の impact factor は上昇の一途をたどっている。上記に示した日本呼吸器学会の努力は確実に実を結びつつあり、呼吸器科は「右肩上がり」の診療科となっている。呼吸器病学はその多様性が最大の魅力である。若い世代に「供給不足の時期に呼吸器科医になったことで先導的役割を与えられる(九州大学呼吸器内科：中西洋一先生)」という言葉を送りたい。(三嶋理晃)

呼吸と循環(第 59 巻 第 4 号)

2011 年 4 月 15 日発行(毎月 1 回 15 日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

2011 年年間購読料
 冊子のみ 31,800 円 冊子+電子版 41,400 円
 電子版/個人 31,800 円 電子版/共有 36,570 円
 (税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 樋川・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCOPY (株)出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。